

県境を接しない最高峰を
日帰り周回

和名倉山

標高 2,036m

山行実施日
2016年10月
22~23日

メンバー
(L) S々 木 Y
じ、M田、H高
城、

五時三十分過ぎにサメ沢ゲートを歩き出す。大洞林道を少しだけ歩くと大洞川の方へモノレールが延びているのでそれに沿って下降すると無人の大洞ダムに到達。ダムを渡り市ノ沢沿いに少し歩行し、テープを頼りにナシ尾根に取り付く。しばらくはアンテナが数十m置きに立っていて、比較的道は明瞭だったが、なくなつてからは



山頂にて

結構道探しに迷う。ここらあたりからえらく勾配が急になってきた。この急勾配は、1200m位になってようやく緩くなり、明瞭にナシ尾根に乗ったことを実感する。

標高1300m位になったら、そこにあったスズタケが見渡す限り枯れていた。これが生きていたら相当のヤブ漕ぎを強いられた筈である。助かった！でもやっぱり道は判りにくい。ここで立派な雄鹿と遭遇した。

見込み時間より早く尻無ノ頭1507mに到達。この当たりの所々見通しが効くところから芋木ドッケ、雲取山そして飛竜山が見える。雲取山荘の屋根も視認できた。かつて林業が盛んだった名残として、尾根上には所々に策道中継点の跡が残っている。

紅葉は1500mから1700m位までが見頃な感じで、そこから上に行くともう終わった感があつたが、でも仁田小屋尾根分岐から山頂のあた

りでのカラマツの黄色い紅葉は見事だった。

仁田小屋尾根分岐に到達した段階で、下山は仁田小屋尾根を下ることに変更した。ナシ尾根が最短ルートではあるが、下りではルートを踏み間違える可能性が高いと皆が判断した結果である。

仁田小屋尾根分岐から緩い勾配の中、倒木をまたぎながら見通しの効かない静寂の和名倉山頂に到達した。眺望は効かないが、奥秩父の雰囲気

が横溢している場所だ。
しばしの休憩後、往路をそのまま戻り、仁田小屋尾根分岐へ。ここでルート変更を○野さんにメールした後に、仁田小屋尾根を下り出す。仁田小屋尾根の方がナシ尾根よりはるかに歩きやすい。急勾配から緩い勾配に変わり、一旦登り返して1728mに。ここで左にターンして仁田小屋尾根を辿る。所々スズタケが歩行のじゃまにならないよう、ビニール紐でくくられていたのはありがたかった。

1500mの仁田小屋ノ頭、ここで少しルートに迷ったが、結局南側の尾根を選択して下り出す。地形図上で

の1400m当たりで再度迷ったが、植林帯の中でルートを発見してつづら折りのよく踏まれた道を下る。仁田小屋のすぐ直近でY城さんが膝が痛くなりテーピング。鍵が掛かって入れない仁田小屋前で少し長く休む。鹿柵を通り抜けてから急勾配の道で大洞林道に降り立ち、あとは林道歩きを一時間二十分ほどしてサメ沢ゲートに戻った。

和名倉山は県境を接していない中では埼玉県内で最も高い山だ。日帰りが可能か半信半疑だったが、結果として日帰り周回ができたので、満足度が高い山行となりました。

(記 H高)

コースタイム

サメ沢ゲート 5:35-5:55 大洞ダム-8:20
尻無ノ頭 8:25-10:18 仁田小屋尾根分岐
10:30-10:55 山頂 11:20-11:40 仁田小屋
尾根分岐-13:09 仁田小屋ノ頭-14:00 仁
田小屋 14:25-14:48 林道-16:09 サメ沢
ゲート

